

科目 共通技術論Ⅲ	授業担当者 中川 郁子	所属 専任教員	
開講時期:前期～後期	単位数:1単位	時間数:30 時間	
授業の目的 対象理解と看護実践の基礎となる技術を習得する。			
授業の概要 看護過程は、目標に向かって効果的かつ効率よくケアを行うための組織的・系統的な方法であり、問題解決的なプロセスである。ケアの質を高めるためにも重要な技術である。講義で基本的な考え方を理解した後、事例患者の看護過程展開に取り組む。ワークを通し理解を深め、看護過程用紙に整理する。また、看護実践能力の一部として、人々の健康に関わる学習を支援する看護技術について学ぶ。対象者の思いを想像しながら、学習支援をするための計画立案、教材媒体を作成し、演習を通し支援方法の理解を深める。			
受講上の注意・事前学習の内容 教科書等を予め確認し、授業内容に関してイメージできていることが望ましい。提示された事前課題について学習し授業に臨むこと。必要時資料は印刷し、準備すること。			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	看護過程の意義、看護過程の構成要素	講義	
2	アセスメント(情報収集、整理)看護診断	講義	
3	計画立案・実施・評価の仕方	講義	
4・5	情報の分析・解釈	講義	
6	事例患者の看護過程展開 情報の整理と分析解釈	演習	
7	事例患者の看護過程展開 関連図と全体像	演習	
8・9・10	事例患者の看護過程展開 看護上の問題、看護目標、看護計画	演習	
11	看護過程演習(事例患者の看護過程展開) 共有	演習	
12	学習支援活動の基礎技術 学習支援	講義	
13	学習支援するための指導計画の立案(事例提示)	演習	
14・15	教育・指導の実際:指導計画と教材(指導媒体)の共有	演習	
	試験		
テキスト 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 ブックライブラリー 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程＋病態関連図 医学書院 ブックライブラリー 緊急度・重症度からみた症状別看護過程＋病態関連図 医学書院			
参考書・指定図書 看護がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア			
評価の方法 筆記試験、授業態度、提出物を総合して評価する。			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります